

## ◆履修 (本項目は2017年度以降入学生向けです。2016年度以前入学生は別ファイルを参照してください)

### 履修登録

履修に際しては、自分が関心を持つテーマに関連した学問分野の科目の単位を、確実にしかも段階を追って修得していくことが必要です。市ヶ谷基礎科目の中には、学部の専門科目を学ぶ上で前提になるような基本的内容を取り上げている科目があります。また、学部科目の中にも、科目間の履修順序を守る必要がある科目があります。「法政大学webシラバス」で各科目の内容説明を読み、自分にとってどの順番でそれぞれの科目を履修していくのが適切であるのかを、考えてください。



法政大学 web シラバス

具体的な履修の計画をする前に、キャリアデザイン学部主催の各学年向けガイダンスに必ず出席し説明を受けてください。さらに毎年4月に行われる履修相談会を活用して履修計画を立てることもできます。キャリアデザイン学部独自の制度として、学部生は、「キャリアアドバイザー」と呼ばれる学部専門職員に履修に関しての相談をすることができます。個別に履修相談がしたい場合は、キャリアアドバイザールーム（富士見坂校舎3階）のキャリアアドバイザーに相談してください。

#### 1 登録制度とは

単位を修得するためには、指定の期日までに履修したい科目を登録する、「履修登録」という手続きを確実に行わなければなりません。履修登録は春学期・秋学期セメスター開始時の年2回行います。この履修登録はとても重要で、登録を怠った場合は当該セメスターの単位の修得はできず留年となることもあります。また、登録エラーがあった場合、放置したままにすると登録自体が無効となり単位の修得ができません。

みなさんが履修登録の意思表示をした科目はコンピューター処理され、履修が手引きどおりになされているか判定されます。エラーを完全になくしないと正式な登録となりませんので、必ずこの手引きをよく読み、エラーを出さないよう注意してください。ただし、コンピューター処理をしているといっても、すべて細かい部分まで完全に判定はできないこともあります。登録した科目に間違いがないか、履修条件に合っているかは、各自で必ず確認しなければなりません。

履修登録についての詳細は、法政ポータルサイト（Hoppii）内の学部Web掲示板等にてお知らせしますので必ず確認してください。

学則第22条	学生は、履修しようとする授業科目を毎年所定の期間内に届け出て、承認を得なければならない。
学則第39条	新入生で指定された期日までに履修届を提出しない等、その他本学において修学する意志がないと認められる者は教授会の議を経て除籍する。

期限までに登録しない場合、当該セメスター開講科目の受講が認められず単位の取得ができないばかりか除籍となることもあります。十分注意してください。

## 2 履修登録前の準備（必ず行ってください）

キャリアデザイン学部では、一部の抽選科目を除き、履修登録期間よりも先に授業が始まります。まずは履修したい科目を学習支援システムに仮登録し、授業に臨んでください。学習支援システムには法政ポータルサイト(Hoppii)からアクセスすることができます。学習支援システムに仮登録することで、その授業に関するお知らせや教材の参照、休講や教室変更等の連絡を受け取ることができます。履修したい授業はすべて仮登録することを忘れないでください。

ただし、学習支援システムへの仮登録は履修登録とは異なります。あくまで、履修登録期間に履修登録をしないと単位が修得できませんので注意してください。

## 3 履修登録のしかた

学習支援システムへの登録は、あくまでも仮登録です。法政ポータルサイト(Hoppii)から情報システムにアクセスし、履修登録を行ってください。また、履修登録前には必ず「Web履修ガイド」(学部Web掲示板に記載)を読んでください。法政ポータルサイト(Hoppii)のURL、QRコードは以下のとおりです。

<https://hoppii.hosei.ac.jp>



法政ポータルサイト

履修登録期限については、つぎのことに注意が必要です。

- ・ 掲示された期日までに、必ず自分自身で申請してください。
- ・ 履修登録期間中に病気や不可抗力の事故等のため履修登録ができなかった場合には、診断書等の証明書をつけ、キャリアデザイン学部窓口に出してください。連絡や正当な理由がなく期日に遅れた場合、登録の申請は受け付けません。

履修登録期間後に、日時・時間を勘違いしていた、忘れていた、(締切間際にログインして)PC・システム等の操作方法がわからなかった、あるいはアルバイトがあったからといったような理由での事後登録もしくは登録内容の変更は一切認められません。

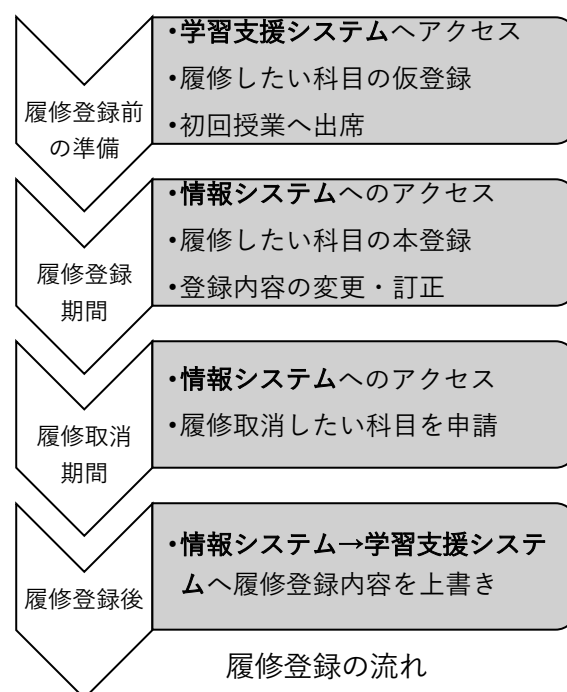
履修登録については、卒業・進級に関係してくる重大な事項ですので、必ず所定期間内に登録内容を確認し、手続きを完了させるようにしてください。

## 4 登録単位制限と重複登録について

登録できる単位数には、 Semester・年次ごとに上限があります。この制限を超えて登録すると、「登録エラー」となり、すべての科目の履修登録が無効となりますので、注意が必要です。

### <注意>

- ・ 履修登録をしていない科目・曜日・時限の授業へ出席したり、試験を受けたりしても単位の修得はできません。
- ・ 大学から成績や緊急の連絡等に関する重要書類を郵送することがありますので、転居した際は必ず住所変更の手続きをとってください。
- ・ 留年および復学・復籍した場合、学生証番号・所属クラスが変更になる場合があります。留年・復学・復籍した当該年次のカリキュラムにもとづいて、登録してください。



## 履修登録上の注意点

### クラス指定・定員のある科目について

以下の科目は、原則としてクラス指定もしくは定員制が設けられているので、必ずしも希望通りの時間に履修できるとは限りません。

- (1) I L A C科目4群の必修外国語は、指定されたクラスで受講してください。
- (2) I L A C科目4群の選択外国語は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (3) I L A C科目5群の科目は、通常授業のクラス指定か集中授業のいずれかになります。
- (4) I L A C科目3群のサイエンス・ラボA/Bは、受講者数に制限があります。
- (5) I L A C科目のうち、履修者が大人数となる授業については抽選があります。詳細については17ページからの案内を読んでください。
- (6) 入門系の授業の受講は、クラス指定されている場合があります。
- (7) 国際コミュニケーション語学は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (8) 情報実習室を使用する授業は、受講者数に制限があります。
- (9) 体験型選択必修科目は受講者数に制限があります。
- (10) 上記以外にも受講制限を行う場合があります。選抜方法の詳細についてはweb掲示板や講義概要(シラバス)を参照してください。

### 履修登録科目確認通知書について

履修登録科目確認通知書とは、皆さんがWEB上で履修登録した科目の科目名や単位数などの登録内容を表記したものであり、皆さんが登録した科目と実際に登録された科目とが一致しているかどうかを確認するためのものです。

履修登録が完了すると、「履修登録科目確認通知書」を出力することができますので、履修登録が完了したら必ずプリントアウトし、自分の登録に誤りがないかどうかを確認してください。

同一名の科目が複数の曜日・時限、担当教員で開講されている場合もあります。

科目名だけでなく曜日・時限、担当教員名等も必ず確認してください。

また、エラー表示や誤登録があった場合には、ただちに訂正手続きをとらなければ、履修登録が完了したことになりません。履修登録が完了していない場合、その科目の登録のみならず、すべての科目の登録が無効となり、仮に授業に出席して試験を受けたとしても、成績評価の対象外となるので十分注意してください。

「履修登録科目確認通知書」の確認を怠ったために履修登録の誤りを見過ごし、結果的に単位を修得できなかった例は毎年必ずあります。十分注意してください。

### 履修科目の変更・取消について

履修登録内容にエラーがあり、登録ができない場合はエラーの訂正をしないと履修登録が完了しません。必ずエラーを修正してください。

また、履修意思がなくなったために登録を取りやめる場合、指定された期間内に限り、変更・取消ができます。詳しくはキャリアデザイン学部からの案内を確認し、情報システムで手続きをしてください。

## よくある質問（履修）

問い合わせの多い事例	回 答
<b>履修</b>	
履修許可が必要な科目の初回授業に出席しておらず、履修登録期間内に許可を取るのが難しい。 今から履修することはできるか、また履修登録を延長してもらえないか。	まずは、その科目を担当する教員が他の科目を担当していないか、時間割やシラバスで確認してください。他の科目を担当している場合は、その授業の前後で教員に履修許可をもらえないか相談してください。履修登録期間の延長は認められません。
教員に履修許可を得たので、履修登録をしなくてもよいと思った。	履修許可を得ただけでは、履修登録したことになりません。自身でWeb履修登録をする必要があります。また、履修登録期間外の科目の追加は認められません。
学習支援システムに入力したので、履修登録は終わったと思っていた。	法政大学情報ポータルサイトと学習支援システムは別のシステムで連動していません。 学習支援システムでは履修登録はできません。
成績調査の結果次第で、履修内容が変わるため、履修登録期間を延長して欲しい。	学部窓口で相談してください。
履修登録していない授業に出ていた。	単位の修得は、履修登録した科目のみ可能です。履修登録していない科目の単位修得はできません。また、履修登録期間外の科目の追加は認められません。
履修登録科目確認通知書に記載の科目と学習支援システムに登録した科目が一致しないが、どちらが正しいのか。	情報ポータルサイトの登録科目が正規の履修登録科目です。履修登録した科目については必ず、「履修登録科目確認通知書」を印刷、確認してください。確認後も履修年度中は大切に保管してください。なお、学部窓口では、履修および成績についての相談を受け付けていますが、あくまで相談であり、進級および卒業を保証するものではありません。履修および成績については、必ず自分自身で責任をもって確認するようにしてください。
「English」の習熟度別クラスについていけないので、クラスを変更したい。	英語能力の測定テストに基づき、クラスを決定しています。クラス変更はできません。
第二外国語を変更したい。	入学時に選択した諸外国語を変更することはできません。
2年次英語・諸外国語選択希望登録を忘れていた。	指定された期間に回答しなかった場合には、自動的にパターンAまたはパターンBが割り振られます。